

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/07/03

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.35	-0.10
JPY/THB	0.2252	-0.0011
USD/JPY	143.66	0.24
EUR/THB	38.16	-0.16
EUR/USD	1.1799	-0.0007
USD/CNH	7.161	0.000
SGD/THB	25.41	-0.09
AUD/THB	21.30	-0.07
USD/INR	85.71	0.17
USD Index	96.78	-0.04

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.392	0.018
10Y (THB)	1.588	0.015
5Y (USD)	3.863	0.030
10Y (USD)	4.277	0.035

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,359.7	9.9
WTI (Oil)	67.45	2
Copper	10,013.0	79.0

Stock

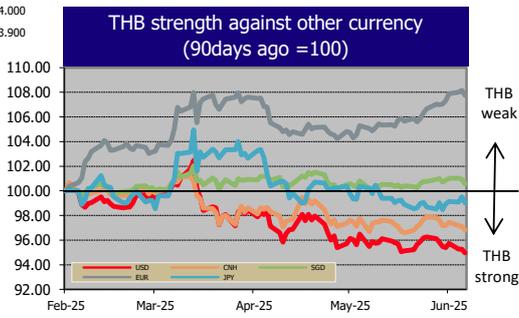
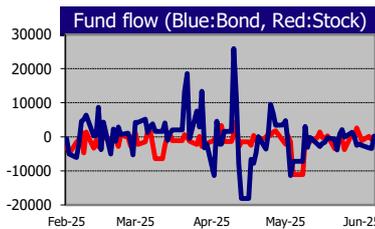
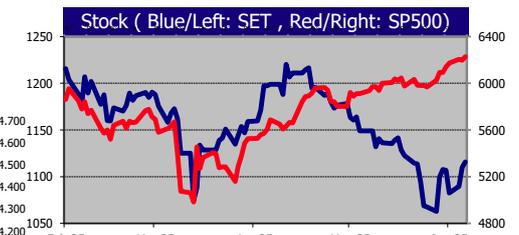
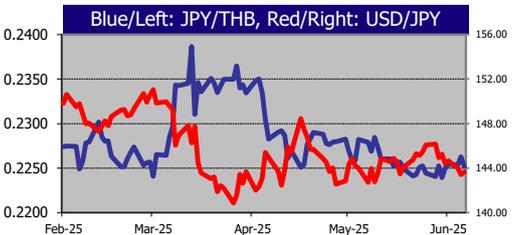
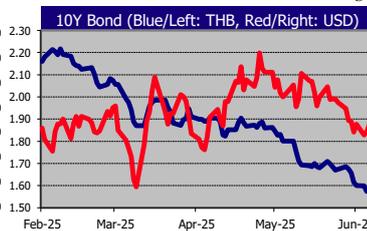
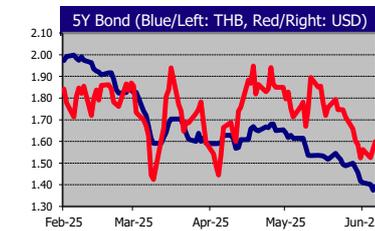
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,115.69	5.68
NIKKEI (JP)	39,762.48	-223.85
DOW (US)	44,484.42	-10.52
S&P500 (US)	6,227.42	29.41
SHCOMP (CN)	3,454.79	-2.95
DAX(GER)	23,790.11	116.82

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(680)	96.0
Bond net flow	232	3651.3

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは下落。32パーツ台半ばの水準で取引を開始すると、バンコク時間はタイ経済団体からタイ中銀に対する利下げやパーツ相場の管理を要請するコメントが確認され、タイ中銀当局者からもハト派的な発言が見られる等の動きがあったものの、同国の米国との関税交渉や週末の米雇用統計に警戒感が高まっている中でドルパーツ相場は同水準での推移に留まる展開に。ただ、海外時間に入ると、米6月ADP雇用統計が市場予想を下回り、およそ2年ぶりにマイナスを記録したことでドル売りが進行。ドルパーツは34パーツ台前半まで下落し、そのまま32.35レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

昨日のドル円は小幅に上昇。143円半ばの水準で取引を開始すると、序盤から底堅く推移。ただ、勢いは続かず、144円台前半の水準で一服。その後、海外時間に発表された弱い米6月ADP雇用統計を受けて143円台半ばまで下落するも、米金利の動きに併せて144円台前半まで反発する等、荒い値動に。終盤にかけてはドル売り優勢の展開となり、じりじりと143円台半ばまで戻し、143.66レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

タイにまた政治混乱の季節がやってきた。2年前は首相指名選挙での混乱、1年前は8月にセター首相の突然の失職、そして今年にはペートンタン首相の職務停止と、タイはこの時期になると政情が不安定になることが多いようだ。金融市場もそれを見逃かしているのか、タイのこうした混乱は今のところそれほど材料視されていない。パーツは、7月1日の憲法裁判所の判断直後こそ売りの反応も見られたが、その後は米トランプ政権による上乗せ関税発動を前にしたドル売りの流れの中で、底堅い動きが続いている。とは言うものの、政治混乱が長期にわたる場合は、タイの景気悪化加速を通じてパーツ相場への影響も出てくるであろうから、タイ政治の今後は注意深く追うようにしたい。そして、タイの行方を見通す上で、もう一つの大きなイベント、米国との相互関税を巡る協議も、報道によれば今日から関係級の交渉が行われる予定となっている。昨日は米国とベトナムとの間でディールが纏まったことが公表されており、その内容との比較がポイントになりそうだが、上乗せ関税が発動する9日までにタイとの交渉が合意に至る可能性は低いとする見方もあり、先行き不透明な状況はしばらく続くかもしれない。パーツはこれまでのところグローバルなドル離れという敵失の結果として通貨高が進んでいるように見える。どこかで反転するシナリオは常に意識しておきたい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.